



うさぎ組だより 2月



尚徳福祉会 とちょう保育園



一年でいちばん寒い月がやってきましたが、例年に比べ、今年は暖かい日も多く、子どもたちは元気いっぱい戸外遊びを楽しんでいます。

最近の戸外遊びのブームは、「だるまさんがころんだ」です。「だるまさんがころんだ」のかけ声を良く聞き、ピタッと止まるのがとても上手です！鬼役に興味津々の子どもも多く、時には保育士以外の全員が鬼役になっていることも・・・同じ遊びを通して、楽しい気持ちを共有している姿に成長を感じます。

今年度もあと2か月となりました。残りの日々を大切に過ごしていきたいと思っています。



「鬼はそと～福はうち～」

先月の終わり頃から「節分」を楽しみにしながら「♪おにのパンツ」「♪まめまき」の歌をうたったり、鬼のお面の製作をしたりと、鬼にちなんだ話題で盛り上がっています！もともと鬼に親しみを持っている子どもたちが多く、普段から鬼になりきって遊ぶことが多いため、「鬼」と聞いて、「楽しそう！」という気持ちになっている子どもがたくさんいました！節分の歌は、昨年歌ったことが少し記憶にあったのか、何度か歌うとすぐに覚えていました！！

鬼のお面の製作では、「赤鬼にしようかな？」「それとも青鬼にしようかな？」と考えたり、「可愛いおめめにしようかな？」「怒った眉毛にしようかな？」と悩んだり、理想の鬼のお面作りに一生懸命でした！小さな白目にクレヨンで黒目を描いたり、眉毛やツノなどの細かいパーツには適した量の糊を塗ったりと手先を器用に使う姿にも成長を感じました。完成した鬼のお面を被り、「鬼だぞー！！！」とおどける姿がとっても可愛らしいです♪

ぽたん！はんぶんこ！



お散歩から帰ってくると汚れた服からきれいなお洋服へお着替えをします。りす組からうさぎ組に進級し、まずは自分でお着替えをしてみよう！と、これまで頑張ってきたうさぎ組さんですが、最近は一人でお着替えすることにもだいぶ慣れてきました。そんなうさぎ組さんでは、少し前から“クリーニング屋さん”になりきり、脱いだ洋服を自分で半分に畳むところまで挑戦しています！「どうやってやるの？」「こっち？」と確認しながら真剣に畳む姿が見られます。畳み終えた洋服を袋に入れるところまでお願いすると「任せて！」とやる気満々な姿も見られます。

「これくらい簡単にできるよ！」と自信に満ち溢れている姿や「自分でできた！」という達成感を味わったりする姿が、とても頼もしいうさぎ組さんです！

♪♪♪ 2月の目標 ♪♪♪

- 進級を意識し、心待ちにする。

4月からはそれぞれ新しい環境での生活が始まります。進級が不安ではなく、楽しみになるようなお話や関わりを意識したり、身辺自立にむけてのサポートを行なったりしていきたいと思っています。

- 友だちと関わり合いながら遊びを楽しむ。

お友だちとイメージを共有し、一緒に同じ遊びを楽しむ姿が多く見られるようになってきました。自分の思いを相手に伝えたり、相手の気持ちを知ったりと、友だちとの関わりも少しずつ変化してきました。時に思いがぶつかる場面もありますが、自分たちで解決する逞しさも芽生えています。友だちとの楽しい関わりを見守っていききたいと思っています

♪今月の歌「まめまき」「おにのパンツ」「ひなまつり」